

平成31年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

人格の完成をめざし、民主的な社会の形成者として、個人の価値を尊び責任を自覚し、次代の日本をリードする人材を育成し得る高等学校

強き信念(まこと)と 高き理想(のぞみ)を持つ生徒が育つ高等学校

1. 基礎学力を充実させ、自己教育力を高め、自己実現の達成を図る学校
2. 知・徳・体の調和のとれた教育をとおり、豊かな人間性を涵養する学校
3. 国際社会に貢献し得る人間の育成を期す学校

2 中期的目標

1. 基礎学力を充実させ、自己教育力を高め、自己実現の達成を図る学校

- (1) 新たな大学入試制度に対応し、次期学習指導要領を見据えた教育課程の編制と授業の充実。
 - ア 主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。
 - イ 全クラス文理学科移行にあわせて、探究的な学びの充実をはかる。
- (2) グローバル・リーダーズ・ハイスクール(GLHS)、スーパーサイエンス・ハイスクール(SSHS)としての学力向上に係る内容の充実。
- (3) 進路指導年間計画を充実させるとともにキャリア教育の充実を図る。
 - ア 年間計画の充実と一層の進路指導の情報提供に努める。
 - イ 国公立大学志望90%という生徒の進路希望の実現を支援する。
- (4) 英語コミュニケーション能力の育成
 - ア 4技能(聞く、話す、読む、書く)統合型授業の充実を進め、実践的英語力の向上を図る。
- (5) ICT化対応の教育の推進と効果的な65分授業の実施
 - ア 授業におけるICT化を進める。
 - イ 教員研修の充実等により密度の濃い65分授業を行う。

2. 知・徳・体の調和のとれた教育をとおり、豊かな人間性を涵養する学校

- (1) 学習と学校行事・自治会活動・部活動を両立させうる生徒を育成する。
 - ア 1年次部活動加入率90%以上を維持する。
 - イ 取り組み内容の精選を行い、自主的活動全般のレベルを上げ、意欲につながる充実感を持たせる。
- (2) あらゆる場で、人を支える意識・人権尊重の意識の向上に努める。
- (3) 図書館の活用促進・読書指導の充実を図る。
- (4) 指導体制を確立し、通級指導を実施するとともに取り組みの学校教育全体への波及を図る。

3. 国際社会に貢献し得る人間の育成を期す学校

- (1) ボランティア体験活動や授業や行事などを通じて、社会貢献の意識を高める。
- (2) 海外派遣研修や海外の高校による学校訪問(受入)等により、国際感覚の向上に努める。
- (3) 周辺地域、学校の教育活動に関連した関係諸機関との連携を充実させていく。

4. 校務処理の効率化などによる働き方改革の推進

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力を充実させ、自己教育力を高め、自己実現の達成を図る学校	(1)学力の充実と進路希望の実現		※()内は30年度のデータ	
	ア 学習指導方法の更なる工夫と改善	ア 授業改善 ① 日常的な授業見学(バディシステム)や研究授業の実施などにより、自らが積極的に日々授業改善に取り組む ② 学習到達度の低い生徒に対する授業の工夫や、補習・講習の充実に努める。 ③ 校内教職員研修を充実させる A. 経験豊かな教員による個別研修 B. 定時制教員や他校教員との合同研修	・授業アンケートによる肯定的評価 87%以上 (2回平均 85.3%) ・学校教育自己診断の関連項目の向上 「わかりやすく興味深い授業」(91.0%) 「到達度の低い生徒への指導」(80.4%) ・研修実施回数と教職員アンケートの授業改善に関する項目の肯定率の向上 (個別研修9回・合同研修3回実施)	
	イ 全員が課題研究に取り組むための指導体制の確立	イ 課題研究の指導体制 ① SSコースの研究レベルの向上 ② LSコースの指導プログラム作り	・コンクールやコンテストの受賞数の増加 (全国レベル5人、府レベル19人) ・SS・LSコースの指導プログラムの完成	
	ウ 明確な進路目標をもたせるための指導と、進路実現を図るための指導の充実	ウ 進路指導 ① 集中セミナー、サマースクールの充実 ② SSH事業における研修(東京・豪州)やマンスフェスタなどの実施 ③ 粘り強くチャレンジする意識のはぐくみ ④ 進路実現に向けた研修や講習の実施	・学校教育自己診断での生徒・教職員アンケート「GLHS、SSHの取組み」肯定率の向上 (それぞれ 75.9%、76.9%) ・進路研修の実施回数(31回) ・国公立進学率現浪合わせて70%の実現 ・1月センター後の講習の見直し	
エ 英語4技能の身につけるための取組みの充実	エ 英語4技能の取組み ① GTEC受験など外部検定の実施 ② 4技能を身につける授業の促進	・外部検定のスコアの上昇 GTECでの全員CEFR A2以上の維持		
オ ICT化の活用と65分授業の効果的な実施	オ アクティブラーニング ① 授業のICT化の促進と密度の濃い65分授業の実施	・学校教育自己診断関連項目の向上 (生徒91.9%、教職員95.8%)		
2 豊かな人間性を涵養する学校	(2)豊かな人間性の涵養			
	ア 学校行事や自治会・部活動の取組みの充実	ア 行事と自治会・部活動の充実 ① 行事やHR活動を精選し充実させる ② 部活動入部を促進する	・行事の内容を見直し精選する。 ・学校教育自己診断の関連項目の向上 (HR80.2%、行事80.5%、自治会76.2%) 学校生活満足度90%実現(88.1%) ・部活動入部率90%以上維持(94%) ・遅刻回数2500回以内の達成(3483件)	
	イ 挨拶の励行と自己管理能力の向上	イ 挨拶の励行と自己管理能力の向上 ① 遅刻を減少させる	・SC配置の継続と回数・内容に関する学校教育自己診断の肯定的回答率の向上 (相談件数100回) ・通級指導教室の開設と指導の開始	
	ウ 教育相談と通級指導の連携による生徒支援の充実	ウ 生徒支援の充実 ① 教育相談体制を充実させる ② 通級指導教室を開設し支援に取り組む	・学校教育自己診断の関連項目の向上 (人権学習88.4% いじめ対応86.6%)	
エ 人権尊重の意識の向上	エ 人権HRなどの充実 ① 仲間の思いのわかる集団作りを進める ② いじめや人間関係トラブルへの組織的対応	・委員会活動の実績と人数の増加(34人)		
オ 図書館の活用促進	オ 図書館の活用 ① 委員会活動の活性化と利用促進			
3. 国際社会に貢献し得る人間の育成を期す学校	(3)社会貢献活動の推進			
	ア 社会貢献の意識の高揚	ア 社会貢献活動の充実 ① ボランティア体験活動の実施	・ボランティア参加人数の増加 (10団体165人)	
	イ 国際感覚の向上	イ 国際教育の推進 ① 海外生徒派遣研修(豪州、シンガポール、アメリカ)の実施 ② 姉妹校(英国ペンブライス高校)との交流、来日高校生との交流の実施	・実施の有無と、学校教育自己診断の国際教育に関わる肯定度の向上 (生徒81.6% 保護者94.3%)	
ウ 地域と連携した教育活動の充実	ウ 地域との連携 ① 保育所等交流、弁護士会、税務署などの地域を舞台にした教育活動の実施	・各取組みの実施状況		
4. 働き方改革	(4)働き方改革の推進			
ア 校務処理の効率化	ア 校務処理等の効率化を進める	・時間外勤務の削減(平均30時間削減)		